

柳川市市民協働のまちづくり事業(令和3年度実施)

まちづくりの提案 を募集します!

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



皆さんのアイデアで、まちづくりにチャレンジ!

市では、市民の皆さんとともに考え行動するまちづくりを進めています。
この事業は、自分たちの力で社会や地域の課題を解決し、地域の活力を生み出そうとするグループや団体を応援する事業です。
皆さんの日頃の思いやアイデアを活かした柳川のまちづくりを仲間と一緒にチャレンジしてみませんか?ご提案をお待ちしております。

<申込先・問い合わせ先>

〒832-8601 柳川市本町87番地1

柳川市役所総務部総務課市民協働推進係

TEL:0944-77-8419 FAX:0944-74-1374

Mail:somu@city.yanagawa.lg.jp



市民協働のまちづくり事業概要

●事業目的

社会及び地域の課題解決を図るため、市民と市が協働してまちづくりを行うことで、防犯・防災、環境美化、地域福祉、青少年の健全育成など、多様な分野で地域が活性化し、豊かな地域社会を実現することを目的にしています。

●対象となる団体

- (1) 団体の構成員が5名以上であること
- (2) 主たる活動拠点が市内であること
- (3) 年間の活動計画があり、事業の収支が明確であること
- (4) 定款または規約を持ち、自主的・自立的な活動を行っていること

●補助の対象となる事業・募集数

地域の活性化や、社会や地域の課題解決が図られる次のまちづくり事業に補助します。テーマ設定型事業及び自由テーマ型事業を合わせて、おおむね5事業を選考予定です。

- (1) **テーマ設定型事業**：市が設定したテーマに基づき提案する事業・・・5頁
 - ①柳川市可燃ごみ減量化事業
 - ②NHK大河ドラマ招致に関する事業
- (2) **自由テーマ型事業**：自由なテーマで提案する事業

●対象とならない事業

- 施設等の整備（不動産の取得を含む）を主な目的とする事業
- 特定の個人又は団体のみが利益を受ける事業
- 団体がこれまでにしている既存事業（新たな視点を取り入れたものは可）
- 宗教及び政治活動を目的とする事業並びに法令又は公序良俗に反する事業
- 国、県、市及びそれらの外郭団体の助成制度を受けている事業　　など

●補助事業実施期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。

●補助金の額と期間

NEW

- ▶①これから活動を始める、または活動実績が1年未満の団体
補助対象となる経費のうち、10万円を限度として補助します。
補助の期間は1年間です。

定款または規約がなくても、申請までに出来上がれば大丈夫です。
作成のお手伝いもいたしますので、お気軽にご相談ください！



②1年以上の活動実績がある団体

補助対象となる経費の5分の4以内で、30万円を限度として補助します。
補助の期間は3年間です。

★同一団体の同一事業に対する補助は、①と②の期間を合わせて最高4年間です。
(毎年度申請は必要)

●対象となる経費

事業に要する直接経費とします。次の費目を参照に分類してください。

- (1) 報酬・謝金・・・講師・専門家、出演者等への報酬・謝金
- (2) 備品費・・・事業に使用する物品で、特に必要と認められるもの
- (3) 消耗品費・・・文具、その他消耗品費
- (4) 印刷費・・・資料等の印刷及び製本に要する経費
- (5) 通信費・・・切手、はがき等郵便料
- (6) 借上料・・・会場借上料、器具借上料、各種機材レンタル料等
- (7) 委託料・・・音響業務委託、ごみ処理委託等
- (8) 保険料・・・傷害保険料
- (9) 手数料・・・振込手数料、クリーニング代等
- (10) その他事業の実施のために必要な経費で、市長が必要かつ適切と認めた経費

●対象とならない経費

- (1) 人件費（事務職員等の雇用経費等）
- (2) 飲食代（講師等に対する提供は除く。）
- (3) 寄贈するための備品の購入（購入した器具等を他団体等への寄贈）
- (4) 各種大会の賞品・景品（イベントの出演者や作品展の出品者等に対する参加記念品は可）
- (5) 他団体・機関等への補助金としての支出（再補助の禁止）
- (6) 事業の実施を一括して企業等へ委託する場合の支出
- (7) 上記のほか、補助事業の目的と異なる内容の支出

●選考と決定

提出書類を基に「柳川市市民協働のまちづくり事業選考委員会」において、一次選考（書類選考）、二次選考（公開の場でプレゼンテーション：令和3年2月頃予定）において事業採択と補助金額等の選考を行い、市が補助を決定します。

二次選考(公開プレゼンテーション)については、下記の項目により選考を行います。

項 目	選考の着眼点
相乗効果・協働性	提案団体と市が協働することで、双方が持っている長所が活かされ、よりよい住民サービスが提供できる。
	提案団体と市の役割分担の内容が具体的で、どちらか一方の過度な負担となっていない。
課題の把握	事業目的や対象がはっきりしている。
	課題を正しく理解しており、事業を行うことで、その解決や地域の活性化が図られる。
公共性	利益を受けるのが特定の個人や団体ではなく、事業を行うことで目に見える成果が期待できる。
専門性・先駆性	課題やそれを解決するための手法に対して専門的な知識があるほか、今までなかったような新しい視点での提案がなされている。
自主性・主体性	提案団体が自主的・主体的に取り組む事業であり、第三者への丸投げとなっていない。
実現性	事業のスケジュールに無理がない。
	予算の見積額や事業費の積算が妥当であること。
	事業を実施するためのスタッフがそろい、専門的な知識や豊富な経験がある。
将来性	補助金が交付されないようになっても、自力での事業継続が期待できる。

●事業報告

事業を実施した年度末には、公開の場で事業報告を行っていただきます。令和2年度に採択された事業の場合は、令和3年度に事業実施、翌令和4年2月頃に実施予定の公開報告会での報告となります。

●選考委員

役職名	氏名	備考
委員長	石橋正次	柳川市商工会 事務局長
副委員長	乗富 昇	柳川市行政区長代表委員協議会 副会長
委員	鈴木 登美子	特定非営利活動法人 とす市民活動ネットワーク 代表理事
委員	津留 雅秀	柳川市社会福祉協議会 事務局長
委員	中村 善輝	特定非営利活動法人 九州コミュニティ研究所 主任研究員
委員	大藪 俊明	公募委員
委員	竹井 澄子	公募委員
委員	松石 安兵衛	公募委員
委員	平田 敬介	柳川市総務部長

●申請方法

(1) 申込期間

令和2年8月11日(火) ~ 10月30日(金)

(2) 申請書類

- 柳川市市民協働のまちづくり事業提案書(様式第1号)
- 柳川市市民協働のまちづくり事業計画書(様式第2号)
- 事業収支予算書(様式第3号)
- 提案団体調書(様式第4号)
- その他添付書類等

(3) 申請書


総務課市民協働推進係または大和庁舎もしくは三橋庁舎の市民サービス課等で配布する申請書に必要事項を記入し、総務課まで提出ください。また、市公式サイトから申請書をダウンロードして、電子メールで応募することもできます。


MAIL : somu@city.yanagawa.lg.jp



市公式サイト

【テーマ設定型事業の内容】

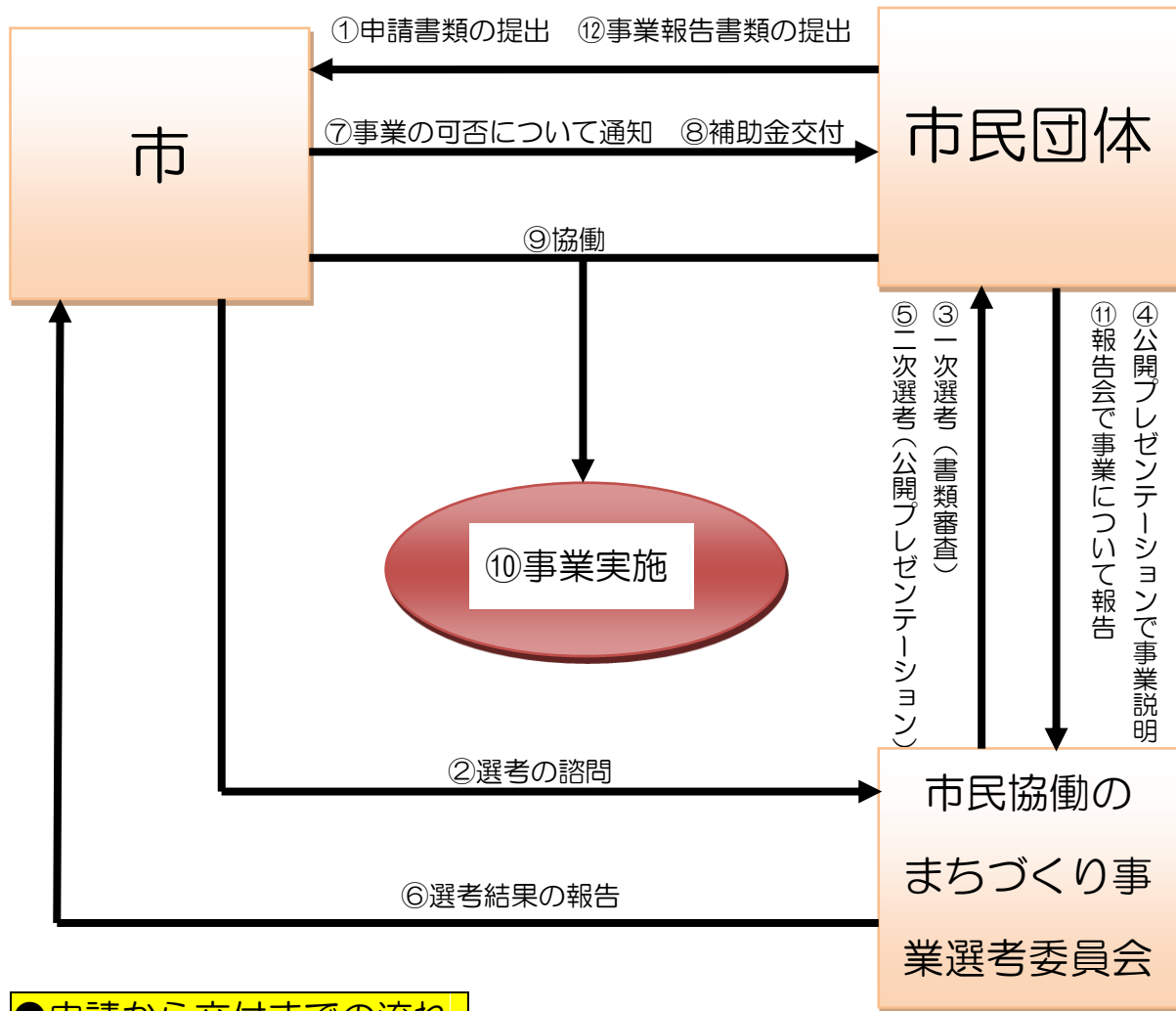
テーマ事業名	① 柳川市可燃ごみ減量化事業
	<p>【内容】柳川市一般廃棄物処理基本計画において「持続可能な循環型社会」の構築実現を目標として掲げていますが、市民や事業所等への普及啓発が思うように進まず、可燃ごみの焼却量は横ばいとなっています。</p> <p>市内の家庭や事業所等から排出される可燃ごみの減量化を図り、「持続可能な循環型社会」の構築を実現するための事業を募集します。</p>

テーマ事業名	② NHK 大河ドラマ招致に関する事業
	<p>【内容】市では戦国時代から江戸時代初期に活躍した初代柳川藩主・立花宗茂公の生誕 450 周年の節目となる本年から宗茂公と妻閨千代を主人公とする NHK 大河ドラマ招致活動を進めています。</p> <p>「西国無双」の武勇である宗茂公は、義に生きた名将として全国約三百藩の中で元の領地に再封された唯一の大名であり、その妻閨千代も 7 歳で女城主になるなど、多くのエピソードを持つ二人は壮大なスケールの物語になると確信しています。そこで大河ドラマ実現に向けて、世代を超えて、幅広く、招致のための PR 活動などを展開してもらう事業を募集します。</p>

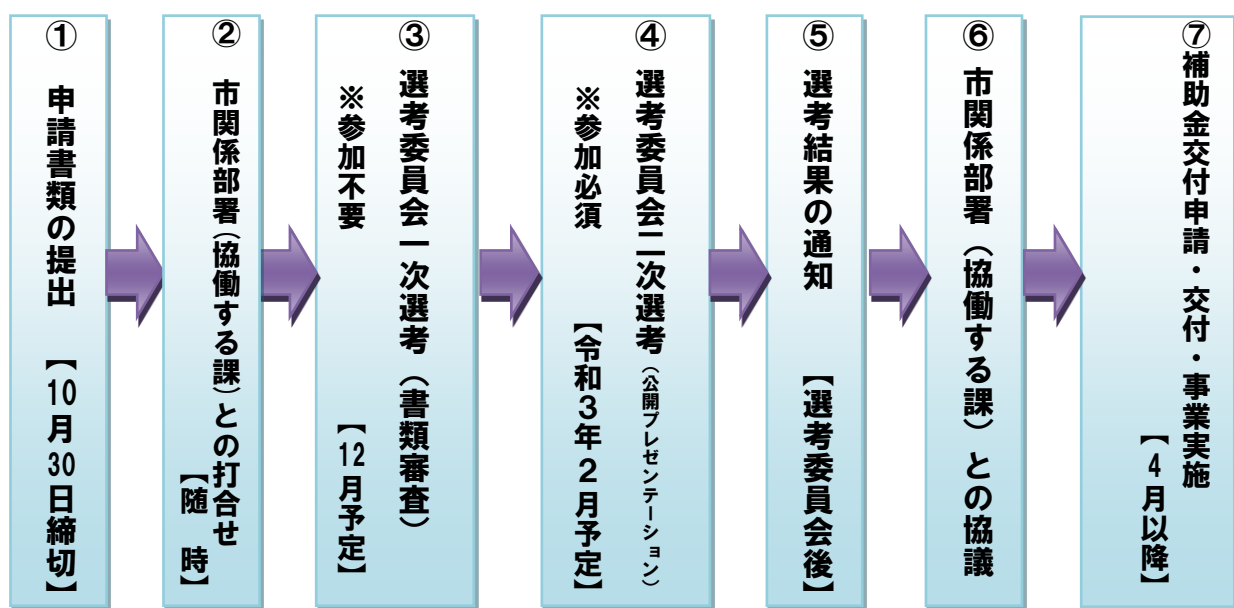
※上記のテーマ設定型事業に当てはまらない事業の場合は、自由テーマ型事業としての申請となります。

テーマ設定型事業を希望される場合は、事前に、現在の市の取り組み等の説明を行いますので、お気軽に総務課までお問い合わせ下さい。

●事業実施の関係図



●申請から交付までの流れ



●本事業で実施されている事業の紹介

【平成31年度採択事業（1年目事業）】

●柳川の掘割プライド発見プロジェクト：水の会

補助金額130,000円 市の関係部署：水路課、観光課、生涯学習課、図書館、生活環境課



柳川市が全国に誇れる掘割。掘割の歴史とその付き合い方を市民が知ることで、掘割の存在に誇りを持ち、身近に感じてもらうきっかけとなる取り組みを行います。「柳川掘割物語」の無料上映会の開催や、視察案内用の掘割パンフレットを作成します。

●伝統的建築技術を学ぶワークショップ：一般社団法人 柳川暮らしつぐ会

補助金額300,000円 市の関係部署：都市計画課、生涯学習課、生活環境課



古民家は柳川らしい風景の一部である。職人と一緒に古民家の伝統的建築技術を体験し、学び、古民家の価値を知ること、古民家を残し、活用する機運を高めるためワークショップを開催します。職人のサポートを得ながら、費用を抑えた改修にも挑戦します。

【平成30年度採択事業（2年目事業）】

●障がいがあっても楽しめる観光コース作り事業

：障がい当事者と考える柳川まちづくり研究会

補助金額300,000円 市の関係部署：福祉課、観光課



障がい者が外出の際、環境の未整備や介助者の不足等の問題があり、解決・解消のための情報も不足しています。観光においても同様のことが起こっており、柳川で誰もが楽しめ、観光しやすいまちにする取り組みを行います。

●安東省菴事績伝承事業：安東省菴顕彰会

補助金額300,000円 市の関係部署：学校教育課、生涯学習課



江戸時代初期の柳河藩の武士で、「柳川の学問の祖」といわれた安東省菴。来るべき立花宗茂の大河ドラマ化と安東省菴の生誕400年目（令和4年度）を前に、安東省菴の偉大な業績を周知することにより、市内外における認知度を上げ、理解を深め、市民の誇りとなることを目的としています。

●本事業で実施された事業の紹介（終了事業）

●柳川市におけることばの発達相談事業：柳川ことばの発達支援グループ

実施期間 H23～H25 年度、 主たる市の関係部署：健康づくり課



保育園・小学校へのニーズ調査とあわせて、保育講座や相談会を実施。保護者が気軽に相談できる体制整備づくりをしました。

●柳川菊の節句：柳川まちかどミュージアム委員会

実施期間 H25～H27 年度、 主たる市の関係部署：観光課

昔から伝わる重陽の節句を復活させ、スタンプラリーなども実施し、秋の柳川に賑わいを創出しました。



●長谷健を偲ぶ作文コンクール：長谷健顕彰会

実施期間 H26～H28 年度、 主たる市の関係部署：生涯学習課



小学生を対象に、長谷健を偲ぶ作文コンクールを実施。全学年から応募があり、長谷健の業績を広めることができました。

●「やながわ有明海水族館」を拠点とした水辺の生きものと環境学習 ：有明海塾

実施期間 H29～R1 年度、 主たる市の関係部署：水産振興課



有明海水族館を活用して、子どもたちに掘割の水生物に触れ合う場を提供し、水環境の大切さを感じる機会を作りました。

柳川市市民協働のまちづくり事業に関するQ & A

Q:団体の規約・会則がありません。申請はできるのでしょうか？

A:申請までに団体の規約・会則を整えていただければ大丈夫です。

Q:今まで行っている既存の事業でも申請できますか？

A:今まで実施しているものと全く同じ既存事業については補助の対象とはなりません。ただし、既存事業であっても「新たな視点」を取り入れたものについては、補助の対象事業となります。その場合、選考委員会の中で「新たな視点」であるかどうかを判断していただくことになります。

Q:今年度まで(又はそれ以前に)他団体からの補助を受けていましたが、申請はできますか？

A:申請はできます。今回募集している事業は、令和3年度事業になりますので令和3年度に他団体から補助を受けなければ申請はできます。ただし、これまで取り組まれていた既存の事業は対象とはなりませんので、新しい視点を取り入れることが条件となります。

Q:とりあえず、1年間だけやってみようと考えていますが、申請はできますか？

A:申請はできます。ただし選考委員会の中で「将来性」といったことも選考項目の一つとなっていますので、そのことも考慮に入れて企画をお願いします。

Q:必ず市役所の各課等と協働することが必要ですか？

A:この事業は団体の皆さんが主体的に行っていただく事業となっているのと併せて、市民協働を推進していくための事業でもあります。市役所の部署と対等な立場で役割分担を行っていくなど、協働の視点を取り入れることにより公共の利益、相乗効果を図っていただきたいと考えています。

Q:柳川市のイメージアップを図る事業として、市外のみでの事業を計画しています。補助の対象になりますか？

A:市外のみの場合は補助の対象となりません。市外での事業も計画していただいても構いませんが、何かしらの市内での事業実施が必要です。

Q:補助金以外の自主財源を参加者の負担金で賄う計画をしています。その場合、計画どおりの収入がない場合はどうなりますか？

A:1年以上の活動実績がある団体への補助金は市長が必要と認める経費の5分の4に相当する額で、30万円を限度としています。よって、残りの5分の1以上は自主財源で賄っていただかなければなりません。もし、決算時に自主財源の収入が5分の1に満たない場合、事業終了後返還していただくこととなりますのでご注意ください。

Q: 飲食を伴うもので対象経費となるのはどのようなものですか？

A: 事業実施に伴い、講師をしていただく方に提供のお茶やお弁当（スタッフのお弁当は除く）、団体内の構成員で行う会議時のお茶代（弁当は不可）は対象経費となります。しかし、事業開催時に参加者・スタッフへ飲食物の提供（賞品も含む）は対象外となります。

Q: 備品費でパソコンを購入することができますか？

A: 事業に使用する物品で、特に必要と認められるものだけが備品費の対象となります。事務用のパソコン購入は認められません。

Q: 子育てに関する講演会を年1回計画して申請しようと考えています。年1回のみの事業でもいいでしょうか？

A: 大丈夫です。ただし選考委員会の中で「費用対効果」といったことも選考の一つとなっていますので、そのことも考慮に入れて企画をお願いします。

Q: 一次選考（書類選考）はどのような視点で選考するのですか？

A: 必要書類は揃っているか。5人以上で組織され団体の規約、会則はあるか。申請内容に不明な点はないか。以上の視点で選考し二次選考（公開プレゼンテーション）に進んでいただきます。

Q: 2次選考（公開プレゼンテーション）は、パソコンのパワーポイントで実施しないといけませんか？

A: どのような形式で行っていただいても構いません。皆さんの趣向を凝らしたプレゼンテーションを期待しています。

Q: 2次選考（公開プレゼンテーション）は、1人で行わないといけませんか？

A: 複数で実施していただいても構いません。ただし、会場の都合もありますので多数で行う場合は事前にご相談ください。

記入例

様式第1号（第5条関係）

柳川市市民協働のまちづくり事業提案書

令和2年8月〇日

柳川市長様

提案団体 団体名 **柳川掘割観測グループ**
所在地 **柳川市本町87-1**
代表者名 **柳川 太郎**
電話番号 **77-8419**

令和2年度柳川市市民協働のまちづくり事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

事業種別	1 テーマ設定型事業（ ） 2 自由テーマ型事業
活動実績	1年未満 ・ 1年以上
提案事業の名称	掘割における外来種・在来種調査事業
事業の実施予定期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日
事業予算総額	1年目：令和3年度 200,000円（うち補助金額 160,000円）
	2年目：令和4年度 300,000円（うち補助金額 240,000円）
	3年目：令和5年度 400,000円（うち補助金額 300,000円）
	総額 900,000円（うち補助金額 700,000円）
添付書類	1 事業計画書（様式第2号） 2 事業収支予算書（様式第3号） 3 提案団体調書（様式第4号） 4 提案団体の規約、会則等 5 提案団体の会員名簿又は役員名簿 6 提案団体の総会資料（直近のもので事業計画・収支予算、事業報告・収支決算が分かるもの） 7 提案団体の活動が分かる資料（会報、新聞の切り抜き、活動写真等）

団体の任意の様式で
お願いします。

注 この提案書及び添付書類は、非公開とすべき個人情報が記載されている部分を除き、原則として柳川市市民協働のまちづくり事業選考委員会及び市公式サイト（市公式サイトにおいては、事業計画書に限る。）において公開します。

柳川市市民協働のまちづくり事業計画書

提案団体名 **柳川掘割観測グループ**

事業の名称	掘割における外来種・在来種調査事業	
事業の目的	<p>市内の掘割に生息する在来種の動植物の実態を把握するとともに、ブラックバスなど外来種の動植物駆除を実施することにより掘割を健全な状態で後世へ引き継ぐことを目的とする。</p>	
課題の把握	<p>市内には、約930kmにも及ぶ掘割が張り巡らされ、独特の景観や生態系を持っています。しかし、近年の水質汚濁やブラックバスやワジ、ルビ、メダカ等の生息により、メダカ類やメダカなどの在来種や貴重な水生植物への影響が危惧されています。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>(だれに等) 小学生・中学生及びその保護者</p>
	手法	<p>(いつ、どこで、どのように、何を等) 奇数月(5・7・9・11・13月)に設定した掘割の地点で在来、外来種調査を実施し外来種・在来種マップの作成を行う。また、その内の外来種調査では、親子での釣り大会コンテストを催し、楽しみながら外来種の駆除を行う。</p>
	目標	<p>(目標とする結果、数値基準等) 3年間で市内3校区内の掘割水路の外来種・在来種マップの完成を目指す。 また、年間で1トンの外来魚の駆除を行う。</p>
協働の相手	<p>(協働する柳川市の担当部署等) 生活環境課</p>	
協働して取り組むことの必要性	<p>釣り上げた外来魚の処理や水路の使用について調整が必要なため</p>	

<p>役 割 分 担</p>	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間を通じ外来種・在来種の定点調査を実施 ○調査結果の報告書作成 ○外来種・在来種マップの作成 ○外来魚釣り大会の実施 <p>(事業実施に伴う市の役割・協働の担当部署)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報「やながわ」への掲載（生活環境課） ○釣り上げた外来魚などの処理（生活環境課） ○観測地点の決定（生活環境課）
<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>令和3年4月 場所・観測方法などの検討</p> <p>5月～3月 奇数月に調査実施</p> <p>8・11月 外来種釣り大会を2回実施</p> <p>令和4年1～3月 マップ作り・報告書作成</p> <p>3月 報告会</p>
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか)</p> <p>掘割に親しむきっかけとなり、掘割の大切さやその機能を再認識することにつながる。また、環境教育の一環となるとともに掘割への愛着がわく。</p>
<p>事業展開</p>	<p>(事業終了後の事業展開)</p> <p>事業終了後も継続的な調査を行い、大きな環境の変化（新たな外来種の発見など）が見られた時には、すみやかに市への報告を行う。</p> <p>年に1回は、外来魚釣り大会は実施していく。</p>

複数年事業実施を予定している場合は、それぞれの年度分の予算書を準備してください。

事業収支予算書(1年目：令和3年度)

提案団体名 **柳川掘割観測グループ**

科 目	金 額	積算根拠
【収入の部】		
補助金	160,000 円	市補助金
参加者負担金	40,000 円	500 円×40 人×2 回 外来種釣り大会参加料として
収入合計(A)	200,000 円	
【支出の部】		
消耗品費	22,000 円	コピー用紙・文房具代 ゴミ袋代等 22,000 円
印刷費	100,000 円	報告書 500 円×150 部 チラシ 10 円×2500 枚
通信運搬費	8,000 円	80 円切手×100 枚
借上料	20,000 円	5,000 円×4 回
保険料	50,000 円	参加者 500 円×40 人×2 回 スタッフ 1,000 円×10 人
支出合計(B)	200,000 円	
収支差額(A)-(B)	0 円	

提案団体調書

(ふりがな) 団体の名称	やながわ ほりわりかんぞく ぐるーぷ 柳川掘割観測グループ
(ふりがな) 代表者氏名	やながわ たろう 柳川 太郎
連絡先	所在地 〒832-8601 柳川市本町87-1 電話番号 (77) 8419 FAX番号 (74) 1374 携帯番号 090-〇〇〇〇-×××× e-mail somu@city.yanagawa.lg.jp
設立年月 (活動開始年月)	平成26年4月
会員数	10人
団体の目的	柳川市内にある掘割に生息する動植物の実態等を通じて、健全な形で後世へ引き継ぐことを目的としています。
主な活動	平成26年～30年 トラジリトノガサ駆除活動 令和元年 外来魚の駆除を実施
主な地域活動	川下りコース沿いを中心に活動
これまでに助成金や委託を受けてきた実績	なし

柳川市市民協働のまちづくり事業提案書

年 月 日

柳川市長 様

提案団体 団 体 名

所 在 地

代表者名

電話番号

令和2年度柳川市市民協働のまちづくり事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

事業種別	1 テーマ設定型事業（ ） 2 自由テーマ型事業
活動実績	1年未満 ・ 1年以上
提案事業の名称	
事業の実施予定期間	年 月 日 ～ 年 月 日
事業予算総額	1年目: 年度 円(うち補助金額 円)
	2年目: 年度 円(うち補助金額 円)
	3年目: 年度 円(うち補助金額 円)
	総 額 円(うち補助金額 円)
添付書類	1 事業計画書（様式第2号） 2 事業収支予算書（様式第3号） 3 提案団体提案団体調書（様式第4号） 4 提案団体の規約、会則等 5 提案団体の会員名簿又は役員名簿 6 提案団体の総会資料（直近のもので事業計画・収支予算、事業報告・収支決算が分かるもの） 7 提案団体の活動が分かる資料（会報、新聞の切り抜き、活動写真等）

注 この提案書及び添付書類は、非公開とすべき個人情報が記載されている部分を除き、原則として柳川市市民協働のまちづくり事業選考委員会及び柳川市ホームページ（ホームページにおいては、事業計画書に限る。）において公開します。

柳川市市民協働のまちづくり事業計画書

提案団体名

事業の名称		
事業の目的		
課題の把握		
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	(だれに等)
	手法	(いつ、どこで、どのように、何を等)
	目標	(目標とする結果、数値基準等)
協働の相手	(協働する柳川市の担当部署等)	
協働して取り組むことの必要性		

役 割 分 担	(提案団体が果たす役割)
	(事業実施に伴う市の役割・協働の担当部署)
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)
事業効果	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか)
事業展開	(事業終了後の事業展開)

様式第3号（第5条関係）

事業収支予算書(年目： 年度)

提案団体名

科 目	金 額	積算根拠
【収入の部】		
収入合計(A)		
【支出の部】		
支出合計(B)		
収支差額(A)-(B)		

提案団体調書

(ふりがな) 団体の名称	
(ふりがな) 代表者氏名	
連絡先	所在地 電話番号 () FAX番号 () 携帯番号 e-mail
設立年月 (活動開始年月)	
会員数	
団体の目的	
主な活動	
主な地域活動	
これまでに助成金や 委託を受けてきた実績	